

理事長メッセージ

全国健康保険協会
理事長 安藤 伸樹



全国健康保険協会（協会けんぽ）理事長の安藤でございます。

加入者・事業主の皆様におかれましては、日ごろより、当協会の事業運営に対してご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私ども協会けんぽは、加入者約4,000万人、加入事業所約250万事業所からなる、主に中小企業にお勤めの方とそのご家族が加入する日本最大の医療保険者です。「加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図る」ことを基本理念とし、様々な事業を行っています。

さて、日本の医療保険制度は現役世代が高齢者を支える仕組みとなっておりますが、現在この国では急速に少子高齢化が進行しており、2025年には団塊の世代の方々全員が75歳以上となる一方で、支え手となる現役世代の人口は減少していきます。

協会けんぽの財政に目を向けると、現在、協会の支出の約4割は高齢者の医療費等を賄うための拠出金ですが、今後さらにその割合が増大していくことが見込まれます。また、主な支出である医療費の伸びが、主な収入である保険料の基礎となる賃金の伸びを上回る赤字構造となっており、財政状況は楽観を許さない状況です。

こうした財政状況の中、今後でもできる限り保険料率の上昇を抑制するため、協会けんぽは、令和3年度からの3年間の中期計画である「保険者機能強化アクションプラン（第5期）」に基づいた取組を実施してまいります。

具体的には、加入者の皆様への給付金の支払いやレセプト審査といった業務を着実に遂行するとともに、特定健診・特定保健指導の推進、重症化予防の対策、協会と事業所で連携したコラボヘルス等の保健事業や、ジェネリック医薬品の使用促進、上手な医療のかかり方の発信等による医療費適正化の取組に加え、若年期からのヘルスリテラシー向上などの加入者の皆様の健康づくり等に関する取組をこれまで以上に推進してまいります。

今回は、こうした取組の一環として、加入者・事業主の皆様が給付金の申請や健康づくりなどを行う際の参考にしていただくため、協会けんぽの取組を紹介するパンフレットを作成いたしました。是非、パンフレットをご一読のうえ、お役立ていただければ幸いです。

私ども協会けんぽは、今後も加入者の皆様が安心して医療機関を受診でき、皆様の健康増進が図られるよう、様々な事業を着実に推進してまいります。その結果、多くの加入者の皆様から「協会けんぽの加入者でよかった」と喜んでいただくことができるよう、役職員が一丸となり取り組んでまいります。

最後になりますが、協会けんぽは職場を基盤とした医療保険であり、各種申請事務や従業員の健康づくり等においては、事業所の皆様のご理解、ご協力が極めて重要です。また、加入者の皆様一人ひとりの取組が、医療費の適正化につながり、ひいては安定的な保険運営につながります。

加入者・事業主の皆様におかれましては、今後も協会の取組に対し、なお一層のご協力とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。